トゲネズミ

【県内生息地】奄美大島・徳之島（地域を定めず指定）
【種　　別】国指定天然記念物
【指定年月日】昭和 47 年５月 15 日

頭胴長約 15cm，尾長約 10cm の黒褐色のネズミで，ほぼ全身に先のとがった２ cm ぐらいの針状の剛毛がある。

おもに照葉樹林内に生息し，シイなどの実や昆虫類を食べる。農耕地などの開けた所ではほとんど見られない。夜行性で，行動は俊敏ではないが，ピョンピョンとはねるようにして移動する。

トゲネズミは日本固有種で，奄美大島，徳之島には亜種アマミトゲネズミが，沖縄島には亜種オキナワトゲネズミがそれぞれ生息する。近年，これらの３島に生息するトゲネズミを，体の大きさや染色体数の違いなどから，それぞれ別種とする説もある。